

第4回シンポジウム「持続可能な生態環境保全に向けて」

主催：横浜国立大学 21 世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」事務局

共催：(財)国際生態学センター、日本生態学会、日本土壌動物学会、(財)WWF ジャパン、(社)日本水環境学会、(社)環境科学会、日本環境毒性学会、(社)日本化学会、(社)日本分析化学会、(社)日本薬学会、(社)電気化学会、エコケミストリー研究会、国際システムダイナミックス学会、環境システム計測制御学会、横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター、横浜国立大学ベンチャービジネスラボラトリ、横浜国立大学共同研究推進センター

開催趣旨：

生物多様性の激減、侵入生物による生態系の混乱、特定種の絶滅危惧、生態毒性化学物質の排出など、生物・生態系の環境リスクに対する管理の強化が国内外で求められてきています。横浜国立大学の 21 世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」では、土圏と水圏での生物・生態系に対するストレス要因の調査と解析、ストレスの大きさの評価、悪影響の調査と評価、そのマネジメント手法、及びそれらのための情報の共有と発信手法などについて、国内外の関連機関と連携して研究を進めています。この度、当 COE の研究成果の紹介とともに、関連の深い豊橋技術科学大学の COE からの発表を加えて「持続可能な生態環境保全に向けて」をテーマとしたシンポジウムを開催し、生物・生態環境リスクを適切にマネジメントするための環境科学の理解と発展の一助にすることに致しました。

日時：2005 年 3 月 23 日（水） 9：50～17：00

場所：横浜国立大学教育文化ホール（横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1）

参加費：無料（ただし、懇親会は会費 3,000 円）

-プログラム-

- | | | |
|-------------|--------------------------------------|--|
| 9：50～10：00 | 開会挨拶 | 横浜国立大学 学長 飯田 嘉弘 |
| 10：00～10：50 | 生態リスクアセスメント手法とその適用例 | 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 松田 裕之 |
| 10：50～11：40 | 生物侵入リスクの評価と管理 | 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 助教授 小池 文人 |
| 11：40～12：40 | 昼休み | |
| 12：40～13：40 | 神奈川県丹沢山系・水系における生物・生態環境リスクアセスメント事例研究 | 横浜国立大学大学院 COE 客員助教授 金子 慶之
横浜国立大学大学院 COE フェロー 久保 隆 |
| 13：40～14：40 | 恒常性未来社会の実現に向けた技術・システムの創出 | 豊橋技術科学大学 COE「未来社会の生態恒常性工学」拠点リーダー 教授 藤江 幸一 |
| 14：40～16：00 | 21 世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」の進展 | |
| 14：40～15：00 | 総括講演 | 横浜国立大学 COE「生物・生態環境リスクマネジメント」拠点リーダー 教授 浦野 紘平 |
| 15：00～16：00 | ポスター発表 | 横浜国立大学大学院 COE フェロー(博士研究員)，リサーチアシスタント(大学院生) |
| 16：00～16：50 | 環境リスクマネジメントに向けた情報共有と情報発信システム | 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 佐土原 聡 |
| 16：50～17：00 | 閉会挨拶 | 横浜国立大学大学院環境情報研究院長 教授 井上 誠一 |
| 17：15～18：30 | 懇親会 きゃら亭(キャンパス内) | |

参加申し込み・問い合わせ先：

氏名、所属、住所、E-mail、電話番号、Fax 番号、懇親会の出席/欠席を記入の上、下記の連絡先までお申し込み下さい。

横浜国立大学大学院環境情報研究院 COE 事務局

FAX: 045-339-4493, E-mail: eco-coe4@ynu.ac.jp

COE ホームページ <http://bio-eco.eis.ynu.ac.jp/>

会場への交通 <http://www.ynu.ac.jp/ynu/map/1.html>